

質疑・一般質問

9月12日、13日、14日の本会議では、27人の議員が登壇し、令和4年度明石市一般会計決算や教育環境の充実等について、市の見解を求めました。発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

—発言順— () は会派名

- 国出拓志(公明党)
 - ①令和4年度明石市一般会計決算
 - ②バッテリーの回収給付・貸与
 - ③住民税非課税世帯へのエアコン購入費の費用負担
 - ④農業施策
- 井智子(市民の会)
 - ①重層的支援体制整備事業
 - ②不登校と行きしぶりの児童生徒と保護者の支援
 - ③水泳授業の民間委託
- 吉広(明石かがやきネット)
 - ①副市長人事
 - ②海岸・沿岸の保全と利活用
- 正木克幸(明石維新の会・代表質問)
 - ①令和4年度明石市決算
 - ②明石市の危機管理体制
- 千住啓介(自由民主党明石・代表質問)
 - ①令和4年度決算
 - ②福島県への非科学的ないわれなき風評被害の撲滅
 - ③明石市西部地区のまちづくり
 - ④明石市消防署中崎分署の移転
- 長尾博子(公明党)
 - ①自転車ヘルメット購入費補助事業
 - ②フレイル予防のさらなる取組で健康長寿のまちづくりを山下(市民の会)
- 山田雅彦(明石維新の会)
 - ①魅力ある「海のまち」づくり
 - ②魅力ある「子どものまち」づくり
 - ③魅力ある「本のまち」づくり
 - ④魅力ある「本のかがやきネット」
- 宮坂祐太(明石かがやきネット)
 - ①財政健全化推進計画の各種数値目標を踏まえ、令和4年度決算から見えてくる本市の現状
- 上田雅彦(明石維新の会)
 - ①明石市新ごみ処理施設整備
 - ②「コミュニティバス」市内東部エリアへの延伸
 - ③あかし保健所所管の問題
 - ④今後の本市の観光
- 石井宏法(自由民主党明石)
 - ①明石市の交通政策
 - ②公職選挙法違反
 - ③タウンミーティング
- 飯田伸子(公明党)
 - ①民間資源を活用した市民への支援体制整備
 - ②小児医療提供体制の充実
 - ③小学校給食の無償化
- 中川夏望(市民の会)
 - ①令和4年度決算
 - ②市民の財産と市職員を守るための監査の実効性確保に向けて
 - ③子育て支援のさらなる発展のために
- 林丸美(明石かがやきネット)
 - ①子どもの居場所、遊び場
 - ②高齢者等の移動支援
- 高尾秀彰(明石維新の会)
 - ①新庁舎
 - ②不妊治療
- 辰巳浩司(自由民主党明石)
 - ①明石駅周辺の民間開発への参画
 - ②学校の水泳授業の民間委託
- 河村和歌子(公明党)
 - ①あかしソフトモンスターカンパニー制度
 - ②9価HPV(子宮頸がん予防)ワクチンの導入
- 山中裕司(市民の会)
 - ①高齢者の熱中症対策
 - ②持続可能な里海づくり
- 竹内きよ子(明石かがやきネット)
 - ①本市の小学校の抱える課題とその対応
 - ②公立中学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行
 - ③安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり
- 中村茂雄(明石維新の会)
 - ①市政運営及び人事行政
 - ②あかし動物センター
- 榎本和夫(自由民主党明石)
 - ③大久保駅周辺市有地
 - ①高丘小中一貫教育校
 - ②旧明石市立図書館
- 金尾良信(市民の会)
 - ①明石商業高校福祉科開設
 - ②住みなれた地域で安心して暮らせる障害者支援及び福祉現場の人材確保の観点から定年退職後の高齢者が福祉現場で働けるような仕組み作り
 - ③自転車のヘルメット着用普及拡大
- 出雲有希子(自由民主党明石)
 - ①明石市の産後ケア事業
 - ②歳入歳出決算書
- 井藤圭順(自由民主党明石)
 - ①DX推進事業
 - ②明石市土地開発公社の解散後の取組
- 三好宏(自由民主党明石)
 - ①明石市公設地方卸売市場のこれからの在り方
 - ②山陽電鉄藤江駅周辺バリアフリー整備
 - ③西明石地区活性化に向けた取組
- 辻本達也(日本共産党)
 - ①小学校給食の無償化
 - ②幼稚園・保育所の消防用設備等の不備
 - ③生活福祉課の紛失金203万7,115円
 - ④職員の健康管理と健康面に配慮した人材登用
- 中西礼皇(対話の会あかし)
 - ①生産緑地制度の導入
 - ②明石港東外港地区再開発の兵庫県との協議
 - ③中崎分署の移転
- 家根谷敦子(スマイル会)
 - ①高齢者の見守り施策の推進

消防署中崎分署の移転 市役所新庁舎整備に合わせ 令和9年度の完成目指す

問 明石市消防署中崎分署の移転について、進捗の状況を聞く。

答 築50年を経過した中崎分署は、老朽化や耐震性の問題から、市役

所新庁舎整備に合わせ中崎遊園地への移転を予定している。今年9月4日から土質調査のためボーリング工事を行う予定であったが、市民団体から計画変更を求める要望書が提出されたため見合わせ、これまでの経緯を再確認した。これまで市民へ説明や意見聴取を行ってきたこと、移転先は歴史的価値の高いとされる場所から外れていないことを確認し、可能な樹木は移植することを決定し、工事の再



築50年が経過した中崎分署

開を指示した。今後、こうした市の考えを市民に説明する機会を設けるとともに、計画どおり令和7年度から建築工事を行い、9年度に新中崎分署の業務開始を目指したい。

財政の硬直化を示す 経常収支比率改善へ 施策の柔軟性確保を

問 財政構造の弾力性を示す経常収支比率は他自治体を上回っているが、改善の取り組みは。

答 経常収支比率は、数値が大きいほど財政が硬直化し、施策の自由度が小さくなる。近年、

本市の経常収支比率は、福祉制度充実に伴い扶助費等の義務的経費が増加し94%前後である。今後さらに扶助費の増加や新庁舎建て替え等の公共施設整備に市債を借り入れることによ

り、公債費が増加し、経常収支比率の悪化が見込まれる。今後も、こどもを核としたまちづくりによるまちの好循環を図り、人口増等に伴う市税や地方交付税の増収を継続させるとともに、施設整備は地方交付税措置率の高い市債を活用し、公債費の償還に充てることで経常収支比率の維持改善に努めていく。

財政健全化を推進 事務経費の削減 取り組みの効果は

問 令和5年度で終了する明石市財政健全化推進計画では、事務経費の削減目標を10年間で13億円としていたが、4年度決算における現状を問う。

答 本市では、卸売市場やあかし斎場旅立ちの丘などの施設で指定管理者制度を導入したほか、水道と下水道の包

括管理や給食調理等の業務委託を拡大した。さらに、公共施設の点検管理を一括委託する市有施設の包括管理業務については、今年度170施設へ拡大するなど、年間5千万円を削減している。また、光熱費はLED化を順次推進し、年間2億円超の削減を見込んでおり、電力・ガスは平成29年度から一括入札を行い総額8億円の削減、さらに全庁挙げての節電により電気料金8千万円を削減している。

問 タウンミーティングにおいて、市長の考えと違う意見や市民同士で異なる意見等が出た場合、どう扱うのか。

答 現在実施しているタウンミーティングは、市の施策の方向性について合意形成を図るものではなく、参加者同士の間で活発な対話によって多様な意見をいただくために実施し

民間主導の 明石駅周辺開発 市の参画は

問 アスピータ明石西側の山陽電鉄所有地およびらぼすビルの現状と開発への参画について、市の考えを聞く。

答 山陽電鉄所有地については、同社より、今後の開発を検討するにあたり、市がかつて整備した当該土地西側のラポール明石2階部分への公共通路を延伸する意向があるのかと確認があり、前向きに検討したいと回答した。また、らぼすビルに



現在は市民ホールの使用を中止

きたい。なお、参加者の声は市ホームページに全て公開し、広く情報発信している。今後も引き続き、タウンミーティングを毎月開催し、多様な市民の声をしっかりと受け止め、明石のまちづくりに生かしていきたい。については、市が5階部分を区分所有しているが、耐震性能の問題により市民ホールの使用を中止している。当ビルの大部分を所有している株式会社明石商工会館などは取り壊す方向で進めていると聞いているが、市としては、保有する権利を最大限活用し積極的に関わっていききたい。